

歴史を生かしたまちづくりに関する
アンケート調査 実施結果

令和 7 年 1 月

横浜市都市整備局

1 実施概要

(1) 調査の目的

『横浜市歴史的風致維持向上計画』の事業推進を図っていくにあたっての市民意見の把握
事業評価及び費用便益比の算出

(2) 調査方法

【配布・配架】会場で紙面の配布（紙面及びWEBでの回収）

【WEBフォーム】市HPへの掲載（WEB回収）

(3) 調査時期

【配布・配架】令和6年9月28日～令和6年10月31日

【WEBフォーム】令和6年10月1日～令和6年10月31日

(4) 回収数

244件（内訳 紙面：144件／WEB：100件）

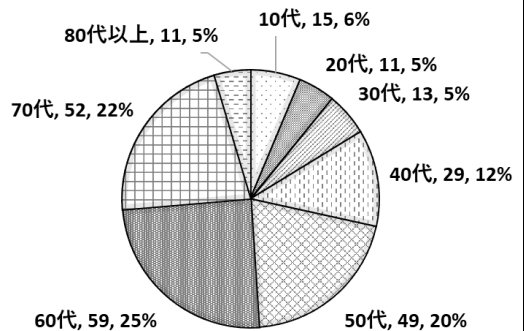
2. アンケート結果の概要

■回答者属性

年齢

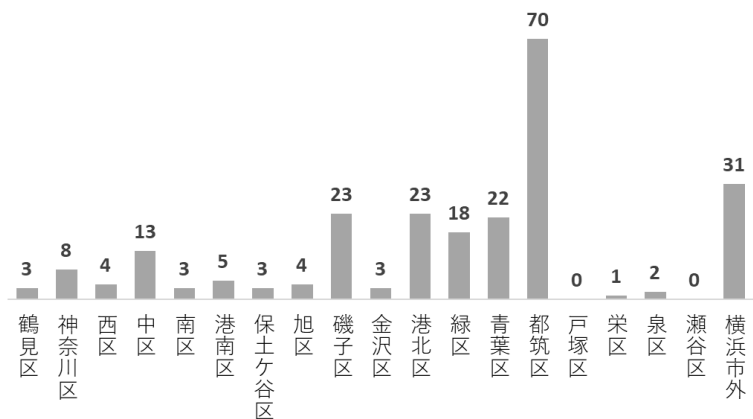
「50代」「60代」「70代」がそれぞれ2割を超え、全体の半数以上を占める。

「10代」「20代」「30代」の若年層は16%となっている。
(※無回答が5件あり)



お住まいの地域

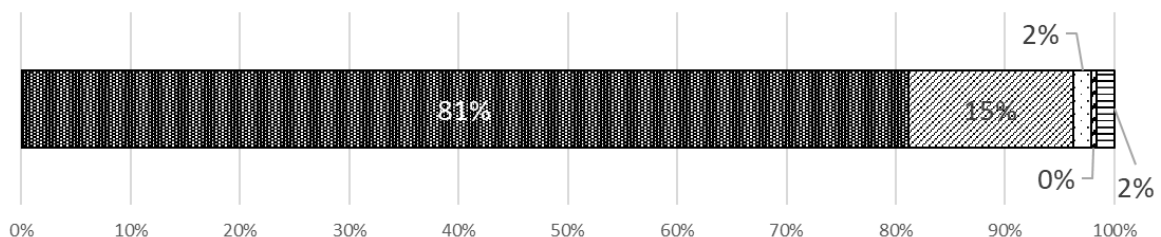
「都築区」が70件と最も多い。
市内では、次いで「港北区」「磯子区」「青葉区」となっている。
(※無回答が8件あり)



■歴史を生かしたまちづくりについて

設問1 歴史資産を活かしたまちやその街並みを魅力的だと感じますか？

「とても魅力的である」「魅力的な場所がある」をあわせると96%となる。
(※無回答が5件あり)

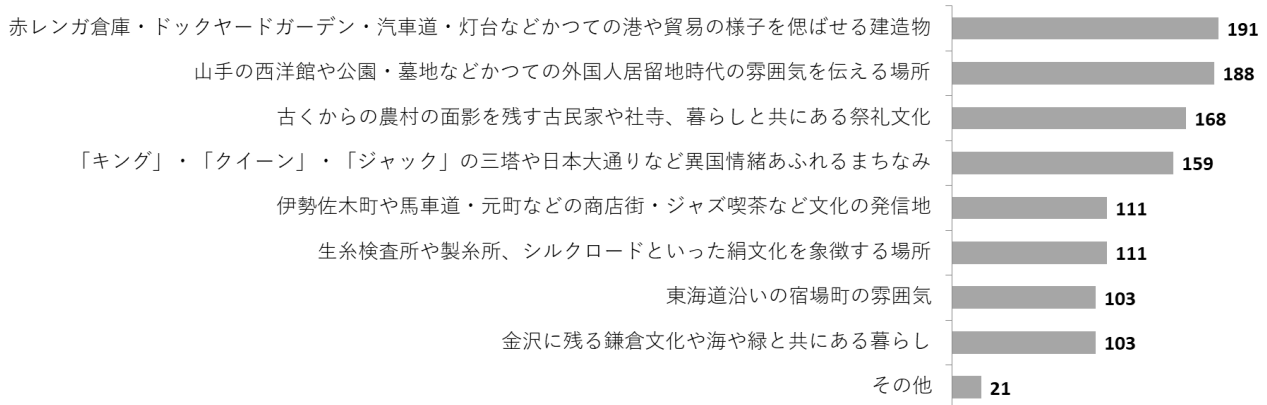


- とても魅力的である(194件)
- ▨ 魅力的な場所はある(36件)
- どちらともいえない(4件)
- ▩ あまり魅力的ではない(1件)
- 全く魅力的ではない(4件)

[設問 2] あなたは、「横浜の歴史を物語る場所」として、どこに魅力を感じますか。(複数回答可)

「港や貿易の様子を偲ばせる建造物」と「外国人居留地時代の雰囲気を伝える場所」に魅力を感じている方々が特に多い。

次いで、郊外部の「古民家や社寺、暮らしと共にある祭礼文化」と回答した方々が多かった。



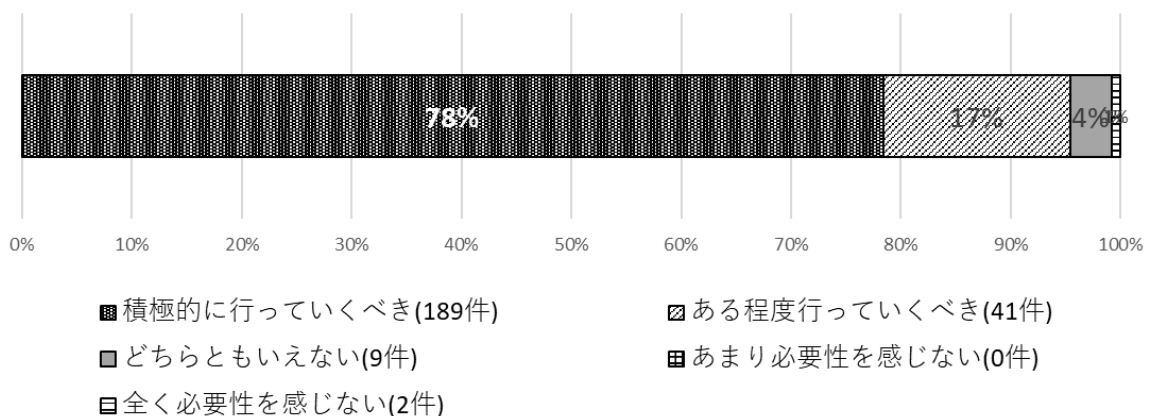
[その他 回答] (※ 原文を掲載しています。)

磯子貴賓館(4件) / 根岸競馬場(2件) / 根岸森林公園(1件、以下同) / 見番所 / 明治天皇が10回訪れた地 / 根岸競馬場を含む山手地区の歴史と文化 / 吉田町等防火帯建築の横浜らしさ / 三溪園 / 指定されていないが今は一般の方がお住になる洋館等 / 馬場花木園 / 京浜工業地帯 / 旧家 / 大山街道 / 綱島温泉 / 綱島の桃 / 都筑民家園 / 都筑区・青葉区古墳群 / 梨畑の風景

[設問 3] 歴史資産を保存・活用していくことについてどのようにお考えですか?

「積極的に行っていくべき」「ある程度行っていくべき」をあわせると95%となった。

(※無回答3件あり)



[設問 4] あなたは横浜の歴史を生かしたまちづくりの方向性について、どのようにお考えですか？

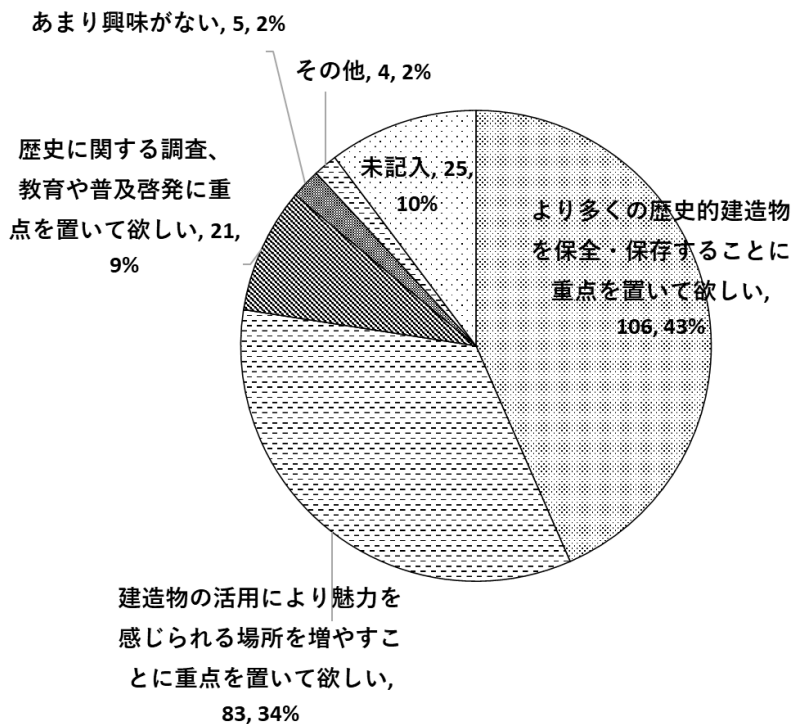
「歴史的建造物を保全・保存すること」が43%で、次いで「建造物の活用」が34%であった。

(※無回答 25 件あり)

[その他 回答]

(※ 原文を掲載しています。)

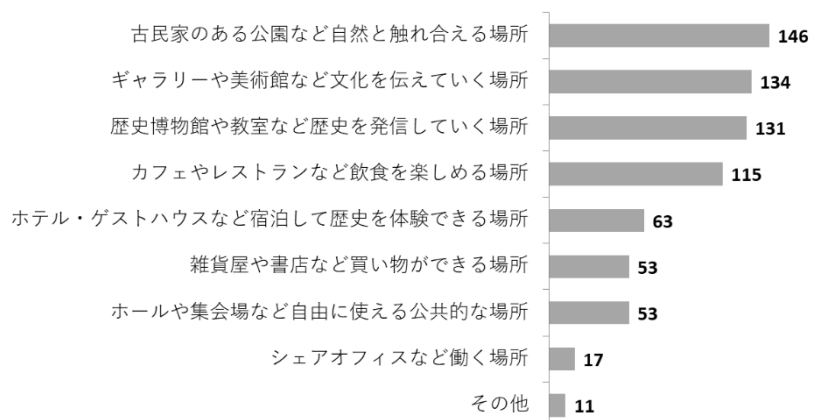
- ・住民が気軽に集える場所として欲しい。(1 件、以下同)
- ・見過ごされているものや、価値が定まっていないものも積極的に調査し、保存・意義ある活用をして欲しい。
- ・歴史的価値を損なわない範囲で建造物の魅力的な活用を図り、横浜の財産として将来に引き継いでほしい。農村風景や古民家は日本の歴史的風景であり、市民が学び憩える場として大事にしたい。



[設問 5] 歴史資産を活用していく場合、どのような場所としていくと良いと思いますか。(複数回答可)

「古民家のある公園など自然と触れ合える場所」と答えた方々が146件と最も多い。

次いで、「ギャラリーや美術館など文化を伝えていく場所」が134件、「歴史博物館や教室など歴史を発信していく場所」が131件となった。



[その他 回答] (※ 原文を掲載しています。)

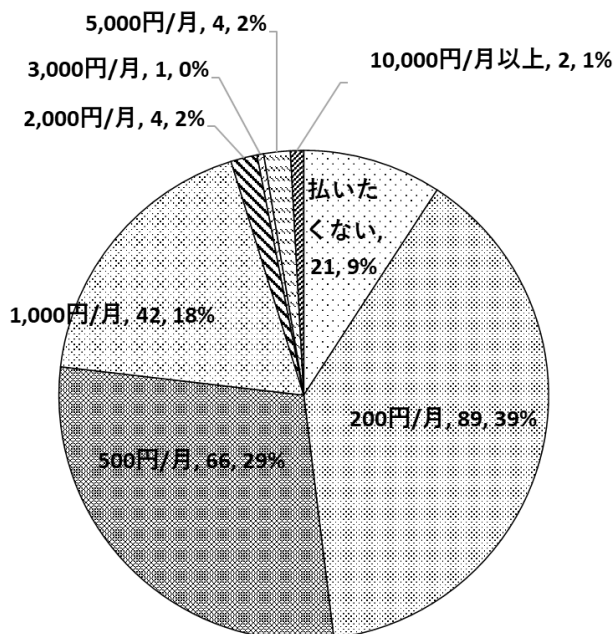
- ・保全活用を積極的に進めていくには収益化も必要だと思いますが、一方で、誰もが自由に歴史資産にアクセスし、関心を持ってもらえるような工夫も必要だと思います。収益化だけを優先すると、不特定多数の人が歴史資産にアクセスできなくなってしまう懸念もあります。
- ・個人所有の場合、その家(一族)の歴史と建物の歴史は一体であり、税制面でのさらなる優遇も含め、財政支援が不可欠であり、急務であります。さもないとマンションと化します。
- ・集まって楽しめる
- ・これらを組み合わせ柔軟で継続的な運用ができるようなぞみます
- ・開発されて40数年のところで今のところない
- ・山手の洋館にスタバを入れる(京都にあるスターバックス二寧坂ヤサカ茶屋店の様に)
- ・街歩きをすると楽しく、いろいろな街角に思わぬ発見があり、車に気を使わずにゆっくりと歩ける場所

[設問 6]横浜市では、今後一層歴史を生かしたまちづくりを推進していきたいと考えています。その上で、特に歴史的建造物の保全の推進を、社会的資産の保全の意味合いから税金によりまかなっていくと仮定して質問します。あなたの世帯では、毎月いくらまでならこのための税金を払っても良いと考えますか？（※あくまで調査における仮定の話です。この調査結果を根拠に新たな税負担を求めることは一切ありません。※この税金は、今後最低 20 年間つづくものと想定してお答えください。）

「200 円/月」「500 円/月」をあわせると 68%となり、半数以上を占める。次いで、「1,000 円/月」が 18%となっている。

「払いたくない」と回答した方は、約 1 割となっている。

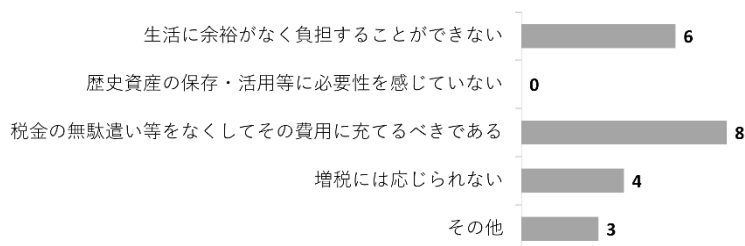
（※無回答 15 件あり）



上記の[設問 6]で「払いたくない」と回答した方に伺います。その理由は何ですか。

「払いたくない」は計 21 件。

「税金の無駄遣い等をなくしてその費用に充てるべきである」が 8 件、次いで「生活に余裕がなく負担することができない」が 6 件となった。



[その他 回答]（※ 原文を掲載しています。）

- ・ 反対の方も考慮すると税金を充てるのは適切ではない。使用・活用する方からの使用料等で賄うべき。
- ・ 税金の範囲内で維持
- ・ この歴史的風致維持向上計画は必要なことで、その維持に費用を出す事に異存は無いのですが、現在、市が進める超高層ビルを主体にする都市開発は

■自由回答（※ 原文を掲載しています。）

- ただ真面目に残すだけでなく、ここまで保存できた歴史的背景や、素材、作った人々の心意気（昔の建造物には、俺がいいものを作るんだ、この地域で一番の物を作るんだ、という感じが個人的に感じられる）できれば、作った人々名、社名、誇らしく後世に伝えてほしいと願います。歴史は雄弁に語ります。見ればわかります。なんでも安易な時代に、考えさせてほしいと思います。
- ガイドツアーがあれば積極的に参加したいです
- これまで歴史を生かしたまちづくりの取組の中で、歴史資産の保全が進んできたと思います。一方で、案内板などはあるものの、歴史資産同士の関係、街とのつながり等のストーリーの掘り起こし、来訪者に体験してもらうための工夫（ストーリーを追体験できる MAP やアプリ等のコンテンツ整備、ガイドの育成、グッズ製作）というのは進んでいないと感じます。歴史的資産の保全活用には、点在する資産をつなぐストーリーやエリアマネジメント、エリアブランディング（横浜三塔物語りも一例だと思います）の視点が大切だと考えています。伝統的建造物群保存地区をはじめとした歴史資産が多く残る地方よりも、開発圧力の高い都心部の方がこうした視点はより重要です。歴史資産単体での収益化だけでは限界があり、それを所有者の創意工夫任せにしている、近い将来先細りしていってしまうと思います。例えば大阪版 BID のように、特定の地域を指定し、歴史資産を活用してエリアマネジメントするための特定財源制度、あるいは台北市の TDR のような容積移転制度等もっと検討していった方が良いと考えます。
- 設問5で記述の通り、個人所有の古民家の場合、メンテナンスに費用がかかり、早晚、維持が困難になります。建物の歴史は、その住民の歴史と重複しており、本格的な財政支援が不可欠です。地方行政だけでなく、文化庁、文部省、財務省など国政レベルも巻き込んだうえで、対応策を早急に練って頂ければ幸いです。そして、ぜひ山手や関内だけではなく、磯子区（旧柳下邸など）も多様な文化財があるので、「歴史風致地区」？に指定していただければ幸いです。
- 郊外の古民家の保存活用を進めてほしい。
- 横浜市が認定する歴史的建造物などは、行政として積極的に活用に関わってほしい
- これからは外国人観光客もわかりやすく、体験しやすいまちづくりが大切だと思います。
- 今ある公開西洋館を有料化するべきだと考えます。重要文化財を含む建物の保全と管理をもっとしっかりとやってほしいと切に願います。
- 他の地域との連動性（例えば本牧のアメリカ文化と居留地の山手など）、ポストモダン建築など近現代の建築で価値が認められるもののリノベーションでより生活者にとっても身近な建築に仕上げしてほしい。
- 京都みたいに古いたてものを再利用して若者がやってくるまちになるとすてきです。
- 生活とは切り離れた保全、保存が合理的だと考えます。
- たくさんの歴史的たてものや歴史に関係するものをより多くてんじすることを期待しています。
- 小さな子どもにとっても身近なものにしてほしい(母代筆)

- みなとみらいの街並みは「ウォーターフロント」＋「白基調の外壁の超高層」＋「レンガ調の低層建物」によって作られており、今から他の都市で同じ様な景観を作るとは難しく、唯一無二の個性を持った景観であり、大成功した街づくりであると感じていて横浜市民としても誇らしい。最近では日本各地で再開発により画一的で無個性な街が量産されているが、他の街が没個性化していることをチャンスと捉えて、横浜市にはそれらとは一線を画した個性的な街になって欲しいし、そうなれるポテンシャルを持っていると思う。歴史的建物はただ単に保存するというよりは積極的に利用する方向で活かして欲しい。
- 古いものと新しいものとの融合させてより魅力的になるような使い方をして欲しい。
- 関内・馬車道エリアは歩道が狭く、散策したいと思える街ではないので車道を潰して歩行者専用道にするとカウーカブルな街になると活気が生まれると思う。
- MM エリアと関内、石川町駅エリアが繋がる LRT のような気軽に乗り降りできる移動手段が欲しい。
- 横浜市として残せるものなどできるだけのことをおこなって子供たちに伝えていって欲しいです。
- 同世代（20代）に「横浜・山手の西洋館」と言っても、知らない人が多いと感じます。でも、季節ごとのイベントやギャラリーの貸し出しなど、素敵な取り組みを沢山されていると思います。これからも西洋館の良さを活かしたイベントなど、引き続き実施していただきたいと思いました。
- 開港の歴史を感じられることが、横浜が他都市とは違う大きな魅力だと思います。この魅力をもっと生かし、横浜らしさを強めていくことが、観光客や住民の満足のために欠かせないと思います。建物がどんどん失われていっているので保全が急務です。（まずは保全して、活用はそのあと考えても良いと思います。）
- とても魅力的なことだと思います。横浜らしさを内外に発信してほしいと思います。
- これからも横濱が未来と過去が融合する美しい街並みであることを期待しております。
- もっと歴史的な文化財が増えれば良いなと思います。
- 横浜が魅力的な街であり続けるために歴史的建造物の存在はかせないものだと思うので、より多くの建物が残って次世代へ受け継がれていくことを願っています。
- 今は特におもいつかないが、近くにあれば身近に感じ協力すると思う。
- 貴重な文化遺産なので、活用しつつ保存して頂きたい。
- 歴史を生かし、保存に積極的な取組に期待します
- 財源は限られていると思いますが、ミュージアムやカフェなど活用していくことにより保全活動資金を得ていくことが必要だと思います。一方で多数の訪問客があることで破損などの心配も正直、あります。

- 歴史的建造物の保全も大丈夫ですが、老朽化して利用されていない施設の活用や活性化にも取り組んで頂きたい。廃墟のような場所が多くなるといくら歴史的建造物が美しくても街としての魅力が感じられません。
- カフェとかの活用は、店内の無料公開日や、撮影可能な時間を設定できないのなら、やめてほしいです。文化財は「おしゃれの為の空間」ではなく、「文化の財」です。カフェは必ずしもその利用法に当たらないと思います。
- 歴史的建造物を未来に繋げるためには維持費も膨大ですが、横浜には多くの歴史資産があります。今を魅力的に活用することは、素敵なことだと感じます。
- みどり税を市営公園（大型）の維持管理にも活用してほしい（現在は活用できない）！この例のように歴史的建造物の保全のための資金（税）も必要だと思います。山手町の西洋館は、横浜市都市デザイン室のご指導ご尽力により、大変良い状況にあると思います。岩田邸の移築・保全についてもお礼申し上げます。山手の西洋館は、観光資源にもなっているので、市内（本牧）の洋館の移転などを行い、さらに充実して頂きたい！
横浜市は、都市デザイン室の公共の基に、昔の建造物を残し（一部は低層階部分のみ）ながら、新しい街づくりをしてきてくれたので、昔の面影を生かした都市開発されており、大変感謝しています。また、山手町地区を見ても、西洋館の買い取り、移転・保全などにより、7~8館が整備され、大変良い雰囲気、異国情緒ある歴史的な街並みとなりました。さらに、税関社宅地を買い取り、岩田邸の移築・整備・公園化と進めておられ、非常に感謝しております。この整備が終了した後の山手地区の新計画はありますか？
- 市民の税金を使うことは税を活用する上で有意義だと思う。しかし、負担のない観光客や市民が見学やイベント参加の際に同一金額だったり、観光客優先のことは疑問を感じる。
- 私は中区で生まれ育ったので、歴史的な建物が、いつも身近にあり、その街の雰囲気が大好きです。ですから、その街並みを守るためなら、税金を払っても良いと考えます。
今は磯子に住んでいて、歴史的建造物である貴賓館が身近にありますが、それが活用されていないことが、もったいないなと感じています。以前、入っていたお店は敷居が高く、利用機会は非常に少なかったため、貴賓館をアート展示やカフェなど、住民はもちろん、外部の方にも足を運んで頂けると場所として、活用して欲しいと考えています。活発な自治会活動をしているブリリア自治会も一緒に盛り上げたいと考えていますので、是非、ご検討をお願いします。
- 横浜市は坂、階段がたくさんあります。日吉の慶應周辺にも私が毎日のように昇る180段の階段（駅に行く）が。区役所に手すりをつけてほしいと頼みましたが、大学に云って下さいというメールの返事のみ。歴史的建造物は好きですが、まずは市民が使いやすい街にすることが第一ではありませんか。市民税を払うと緑税もとられます。国からも緑税をとられ、又、歴史税かと思いました。
- 税の負担が増えることはきびしいのでできれば有料の資料館・貸スペースとすることで費用をまかなう方向で進めてほしい。
- みどり税と同様にとるべき。同時にとっても良いのでは？
- 設問6は個人を想定した税負担のことだと思われるが、企業にも税負担を求めるべきと考える。緑税と同じように歴史資産の保全等を目的とした課税は取り組むべき課題として重要だと思う。ふるさと納税や任意の寄付、民間所有者に対する優遇税制とセットで考え体系化してほしい。
- 情報発信と税金の節約

- 新聞,テレビなどメディアへの広報にイメージにあうタレントを起用。
- 今はその価値に気付かないものでも 20 年後には歴史的資産になりうるものもあるので所有者や市民への啓発もお願いしたい。
- それぞれの歴史資産のつながりをもって紹介して頂きたい。
- 引っ越して半年位でまだ回りの魅力的な場所を知らないののでいろいろな方法で広めて欲しい。
- 市民への宣伝が広まっていないので、グリーンライン・ブルーライン等目のとどく場所へのチラシ等、配布してほしい
- みなとみらいも多くのビルや施設ができ横浜の大きな魅力になっていますが、やはり海に近く空に近い港の風景や近代建築+街路樹の街並みが横浜らしく落ち着いて安らげる空間です。建て替えや高層にしなくても経済的に回っていく知恵が必要と思います。
- 現在ある建物をできるだけ使い、新しいビル（特に高層ビル）は建てないで欲しい
- まちの魅力となる建物は市民の財産なので、きちんと保存して欲しいです。高層ビルはみなとみらいや横浜駅周辺でやってもらい、関内はやめてほしい。
- 歴史を生かしたまちづくり事業に、ぜひ磯子の貴賓館も入れて下さい。
- 磯子区にある貴賓館はブリリア磯子マンションのシンボルとなっていますが現在空き家になっていますので横浜市として活用を検討して欲しい
- 磯子区にある貴賓館を指定保存して欲しい
- 近所に貴賓館(磯子区)があります。とても素敵な建物ですが、ここ数年空き家になっており活用出来ていません。貴賓館の利活用に向けて、横浜市にも積極的に頑張ってください。
- 磯子区の根岸なつかし公園 旧柳下邸、ブリリアシティー磯子内の貴賓館、中区の根岸競馬場なども本取組に入れていただきたいと思います。
- 磯子貴賓館も貴重な建物で、ぜひ対象として頂き活用をお願いします
- 横浜市の歴史でもある貴賓館についても検討いただけると幸いです。
- 現在、ブリリアシティー横浜磯子内の貴賓館は十分に活用されていません。かつてはレストランでしたが、残念ながら閉店しました。この建物は王室と関係があることから、少し優先されるのではないかと考えます。
Currently the Kihinkan located on the grounds of Brillia City Yokohama Isogo is underutilized. At one time, it was a restaurant but unfortunately, it closed. Seeing that the building has ties to the Royal Family, I would assume that this might take a little bit of priority.
- 磯子貴賓館の活用
- 中山恒三郎家の一般公開のような企画を有料(1000 円程度)でも良いので行って欲しい。

- (中山恒三郎家の公開について) 今回のように、通常非公開の場所を公開していただけると嬉しいです。中山恒三郎家のように広くなければ、予約制もありだと思います。寄付もしたいです。
- 年2~3回公開してほしい(中山家住宅について)
- (中山恒三郎家の公開について) だんだん、少なくなっていく歴史的建造物の価値を見つけ、残して行く事は、日本の風景を守る上でも、日本の今からの方向性をみつめる上でも、たいへん重要と考えます。多方面の方達との協働で、楽しく継続して守っていく様努力して行く事の大切さを学びました。イベントの方々、お疲れ様でした。
- (中山恒三郎家の公開について) こういう機会があるのはありがたいです
- (中山恒三郎家の公開について) 私の実家も明治のころから亀戸でお茶屋をやっていました。なつかしいものがたくさんあり実家(今はやっていません)の写真を見たのをなつかしく思います。
- (中山恒三郎家の公開について) 修復しながら後世に長く残して欲しいと思います。今回の公開、たまたまネットで見かけました。これまで知らなかったので、ラッキーでした。
- (中山恒三郎家の公開について) お陰様で古い事にふれ感謝です
- (中山恒三郎家の公開について) すてきなものを見学させて頂きました。残ってほしいと思いました。観光地になれば良いと感じました。横浜らしさは、みなとみらいも大切だが、古き良時代はていねいに残して続けてほしい。ゆっくり見学できました、ありがとうございます。
- (中山恒三郎家の公開について) 今後もこのような活動、イベントに参加したいです
- (中山恒三郎家の公開について) 今回のような古くからある建物を見られる機会があるととても嬉しいです。文化を守りつつ清潔感のあるまちが出来たらいいなと思っています。ありがとうございました！
- (中山恒三郎家の公開について) 本日は、御当主自らのお出向かえ、ありがとうございました。(身分を隠しておいでなので、お声掛け致しませんでしたがお人柄が感じられ、なるほどこれならこの文化財は大切に残されると思われました。改めまして、本日はありがとうございました
- (中山恒三郎家の公開について) 中川恒三郎さんが住んでいたところも見学したいと思います。
- (中山恒三郎家の公開について) 近くにこのような場所があり、中山商店(酒屋)の名前は聞いたことがあったので、興味がありおとずれた。
- (中山恒三郎家の公開について) 近くにこのような歴史ある建物があるとは知らず見学できてとてもうれしく自分のふるさとのこと思いました。又来年うかがいたいと思っています。